

令和元年度 自己評価・学校関係者評価に係る評価結果等報告書

高松市立牟礼南小学校

	評価項目	評価4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (学力向上、キャリア教育、英語教育、情報教育等)	3	○県学習状況調査では概ね良好な結果であった。国語の「書く」「言語事項」に課題が見られたので作文やドリル学習を重視し、確実に定着につなげたい。 ○英語教育では、ICT機器の活用とALT等との連携により実践の充実を図った。	○豊かな心を育てる項目等では、評価が難しい。児童の行動等の評価は教師の主観によるものが大きく、数値として反映しにくい面も多々ある。普段からの声掛けを重要と考え、意識の高まりにつなげてほしい。 ○児童の学年を超えた結び付きが強い。ペア活動や休み時間に共に遊んでおり、雰囲気が良い。集団登校や子ども会加入率の高さが影響していると言える。 ○元気に外で遊ぶことを啓発してほしい。小学生の段階では、遊びの中から学ぶことが多い。社会に出て役立つ思考力やコミュニケーション力、前に踏み出す力の基盤を育ててほしい。身体で覚えることも大切だ。 ○教育相談では、親の気持ちの整理ができたり、学校での様子を改めて知ったりできるので、ありがたい機会として捉えている。 ○不登校児童がいないことが評価できる。教員も困り事にすぐ対応してくれている。 ○PTA役員や保護者の協力体制が整っている。地域の見守り活動も継続してくれてありがたい。 ○登校の仕方がよくなり、挨拶もよくできるようになってきた。 ○評価方法等も再考し、より子どもと向き合う時間の確保に努めてほしい。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (道徳教育、小中一貫・連携教育、ふるさと教育、読書活動、体験活動等)	3	○道徳教育では、児童にとって身近な問題として考え、対話する指導を行った。 ○ボランティアの協力により読書活動が活性化し、読書好きの児童が多い。1月末で1人あたりの貸出冊数は96.6冊で、ほとんどの学年で100冊を超えている。	
3	生徒指導の充実に関すること (いじめ、不登校対策等)	3	○県学習状況調査の質問紙調査では、いじめはどんな理由があってもいけないとほとんどの児童が回答している。いじめの芽の発見と早期対応に努めた。児童や保護者からの悩み相談を積極的に受け、不登校児童は0となっている。	
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (体力・運動能力の育成)	3	○全校体育と体育の時間を中心に運動量を増やす、50m走、鉄棒、縄跳び、持久走を重点として体力向上を図った。体力支援事業で器械運動の技能が向上した。5年対象の全国体力・運動能力の調査では、ほぼ全ての種目で良い結果が得られた。	
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること	4	○マイランチの取組でコンクールへの応募が7割近くあり、保護者の協力が得られている。給食では栄養教諭や委員会の啓発により栄養やマナー指導が図れた。 ○教育相談体制に関して、保護者の肯定的回答が94.1%の高い結果であった。	
6	人権教育の推進に関すること	3	○ふれあい集会とハンセン病に関する講演会を開催した。「強めよう絆月間」での意識の高まりを生かすため、目標づくりや振り返り活動を積み上げる中で、丹念に実践力を高めていく必要がある。	
7	特別支援教育の推進に関すること	3	○特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援委員会を学期ごとに実施し、状況の把握を行った。対応に困難が生じたときは、スクールソーシャルワーカーやカウンセラー、医療機関等との連携を進めるとともに支援員等の配置を見直した。	
8	教員の資質向上と教育指導体制の充実に関すること (職員のコンプライアンス・現職教育等)	3	○「対話」をテーマに研究授業を全教員が実施し、指導技術等の向上に努めた。個人研修テーマの設定と研究内容の明確化により研修の充実が図れた。	
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること	4	○PTA地区安全委員会や見守り隊、駐在所警察官による危険箇所確認や登下校指導で登下校の安全が守られた。PTAの農園整備等で多様な教育活動ができた。	
10	家庭や地域との連携・協働に関すること (高松型コミュニティ・スクール等)	3	○地域、環境、福祉、生き方の視点から、積極的に地域教材を活用し総合的学習を構成した。保護者ボランティアや地域人材による協力体制が充実している。	
11	夏季休業日の短縮に関すること		○マイスタディでは、目標を明確にした補充学習により成果が表れた。	
	・学力の定着(補充的な学習の充実)	3	○保護者アンケートの「子どもをよく見てくれている」の項目は9割近い肯定的回答があり、教員が子どもと向き合う時間が確保できていると言える。	
	・教師と子どもが向き合う時間の確保	3	○ゆとりのある日課を組むことで落ち着いた学校生活の実現を図っている。	
	・ゆとりある教育課程の展開(ゆとりある学習進度等)	3		
12	働き方改革・業務改善に関すること (時間外勤務の削減等)	3	○長時間勤務是正への意識が向上している。行事の意義を問い直し、保護者等の理解のもと精選が進んでいる。スクールサポートスタッフの活用により事務の軽減が図れている。	